

2022年度

ニュージーランド留学報告書

実習先：ニュージーランド国立ワイカト大学

実習期間：9月17日～1月21日

新潟国際情報大学
国際文化
学籍番号：210129129
氏名：和田彩花

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	4
4-1. 留学のスケジュール	4
4-2. 留学の詳細	5
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	6

付録

留学日誌と文化について	7
-------------	---

1. 留学先及び実習期間

留学先：ニュージーランド国立ワイカト大学

実習期間：令和4年9月17日(土)～1月21日(土)

2. 留学先概要

(1) 大学について

ニュージーランド国立ワイカト大学(The University of Waikato)は、1964年に設立された、ハミルトン市に位置する、国立総合大学である。大学には約12,000人の学生が通っており、そのうちの約2,000人が留学生で、その出身地は約90か国にも及ぶ。また、卒業生には、ニュージーランドの前首相である、ジャシンダ・アーダーン氏もいる。キャンパス内には、図書館やスポーツジム、屋外プール、カフェテリアなど、様々な施設が用意されており、学生は有意義な時間を過ごすことが出来る。

(2) 大学で行われている教育について

ニュージーランド国立ワイカト大学では、28の学術プログラムが提供されている。その他に、WPC(Waikato Pathways College)と呼ばれるものがある。WPCの英語プログラムには、一般英語とアカデミック英語の2種類のコースが用意されている。本学の派遣留学生は、この2つのプログラムに参加した。このプログラムは、留学生とワイカト大学への進学を目指す学生のためのものだ。一般英語では、4技能(リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング)をバランス良く学ぶことが出来る。アカデミック英語では、8つのレベルに分かれ、4技能の土台を築くことに焦点を当てた、全体的な英語力の底上げを目指すことが出来る。この2つのプログラムは、多国籍の学生で構成されており、日本人以外にも中国やロシア、サウジアラビアから来た留学生も同じ授業を受けた。

3. 留学目的

今回の留学の目的は、英語力の向上と異文化理解を深めることである。日本での英語の勉強は、リーディングやライティングが中心であり、実際にリスニング力やスピーキング力を試す場面は少ない。そのため、英語しか通じない環境に行くことで、スピーキング力やリスニング力を効率的に高めることが出来ると思った。また、ニュージーランドは多国籍国家であることから、ニュージーランドだけではなく、様々な国の文化を学ぶことが出来ると思った。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	17	出発
	18	到着
	19	オリエンテーション、キャンパスツアー
	20	一般英語 授業開始
10	1	ホビット村映画ロケ地ツアー
	8	ワイトモ洞窟ツアー
	9	ロトルア観光
	21	ハロウィンパーティー
	21~24	オークランドへ旅行
	25~28	アカデミック英語 オリエンテーション
	31	アカデミック英語 授業開始
11	28~ 12/2	アカデミック英語 テスト期間
12	9~10	オークランドへ旅行
	17~ 1/3	クリスマス休暇
	19~22	クライストチャーチへ旅行
	22~24	ウェリントンへ旅行
1	16~20	アカデミック英語 テスト期間
	21	出発・到着

時間割

授業は前半と後半に分かれており、午前は 10 時 30 分頃に、午後は 14 時頃に休憩がある。

金曜日の午後は国情生のためだけの授業があった。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00~12:00	GE/AC	GE/AC	GE/AC	GE/AC	GE/AC
12:00~13:00	昼休み				
13:00~15:00	GE/AC	GE/AC	GE/AC	GE/AC	CEC
15:00~16:00				EC	

4 - 2. 留学の詳細

<授業概要>

・ General English (GE)

テキストやプリント使って授業を行い、4 技能を満遍なく学習した。ゲームなどで単語を勉強することもあった。

・ Academic English (AE)

General English で勉強したことを基に、更なる英語力を高めるための授業だった。エッセイを書いたり、パソコンでリーディングやリスニングの課題をやることもあった。

・ Closed English Class (CEC)

ネイティブの先生が隔週で交代して、授業を行ってくれた。マオリの文化を学んだり、洋楽を歌う練習などをした。

・ English Club (EC)

現地の学生がボランティアとして行っている活動で、様々な国の人たちと交流が出来る場だった。ここでは、多くの友達を作ることが出来、ニュージーランドの生活や最近学生の間で流行っていることなど、多くのことを知ることが出来た。

5. 当初目的・目標への達成度

今回の留学では、英語力の向上と異文化理解を深めることが目的だった。スピーキング力とリスニング力が以前に比べて向上したと感じた。実際に、現地で多くの友達が出来、相手と英語でコミュニケーションを取ることが出来た。これは、日々の授業の取り組みと、ホストマザーと毎日会話をしていたことで、英語に沢山触れることが出来た結果だと考える。また、ニュージーランドの文化を肌で感じ、様々な国の人たちと関わることで、異文化理解も深めることが出来た。

6. 反省点・課題

約4か月の留学で目的を達成しようと努力したが、まだ英語が流暢に話せるようになったとは言えない。また、日本人同士が集まると、どうしても日本語で話してしまう場面が何回かあった。間違いを恐れず、英語をもっと自ら話すことが出来れば、もっとスピーキング力も上がったと思う。今回の留学で経験したことや感じたことを忘れず、これからも更なる英語力の向上を目指していきたい。

7. 謝辞

今回お世話になったニュージーランド国立ワイカト大学の先生方やホストマザー、今回のような留学プログラムを組んで下さった新潟国際情報大学の先生方や学務課の方々、本当にありがとうございました。また、新潟国際情報大学からの奨学金により留学することが出来ました。本当にありがとうございました。

付録：留学日誌

〈オークランド旅行〉

4 か月間のニュージーランド滞在中に 2 回オークランドへ旅行に行った。



〈ハロウィンパーティー〉



〈クライストチャーチ旅行〉

